

「航海日誌」

ヨット(ミルキーウェイV) 令和2年夏・日本(本州)一周

| 日付 | 曜日 | 停泊港 | 記録 | 補給修理 |
|------|-------|--------------|---|-----------|
| 令和2年 | | ナイト=夜間航海 | 事前準備 レース用装備の取外し、ドジャー(風防)ビミニトップ(日除け屋根) 取付け、食料積み込み、装備点検 | |
| 1 | 6月29日 | 月 北海道 小樽 | 仲間に送られる 6:00出航、積丹半島 神威岬通過 | 燃料水満タン |
| 2 | 6月30日 | 火 ナイト | 荒天 | |
| 3 | 7月1日 | 水 青森県 深浦 | 度々寄港している良港、太宰治記念館あり | 給水 |
| 4 | 7月2日 | 木 青森県 深浦 | 休養、五能線が通る 良質温泉あり | |
| 5 | 7月3日 | 金 ナイト | 荒天 | |
| 6 | 7月4日 | 土 男鹿半島 戸賀 | 男鹿半島の天然の良港(火山の爆裂口) 漁業基地 | 給水 |
| 7 | 7月5日 | 日 ナイト | 荒天 | |
| 8 | 7月6日 | 月 佐渡島 小木 | 毎回寄港の良港、北前船記念館 たらい船 | |
| 9 | 7月7日 | 火 佐渡島 小木 | 休養 | 給水 |
| 10 | 7月8日 | 水 ナイト | 順航 | |
| 11 | 7月9日 | 木 金沢 | 金沢市大野町からくり記念館脇に着岸、毎回利用させて頂いている、金石温泉 | |
| 12 | 7月10日 | 金 金沢 | 休養、大野町は昔からの北前船寄港地 古い町並みで醸造所多し、フグ肝の麴漬けが名物 | 給油 |
| 13 | 7月11日 | 土 金沢 | 荒天待機 | |
| 14 | 7月12日 | 日 金沢 | 荒天待機 | エンジンオイル交換 |
| 15 | 7月13日 | 月 金沢 | 荒天待機 | 給水 |
| 16 | 7月14日 | 火 金沢 | 17:30出航 | |
| 17 | 7月15日 | 水 ナイト | いきなりの強風荒天、真上りでピッチング激しく全員グロッキー、艇内荷物散乱するも片付ける気力無し | |
| 18 | 7月16日 | 木 丹後半島 中浜 | 港が満杯なるも、親切な漁師さんが自分の停泊場所を提供してくれた、困っている者に優しい | 給水 |
| 19 | 7月17日 | 金 ナイト | 久しぶりの晴天、天の川(ミルキーウェイ)や白鳥座が素晴らしい、ナイトセーリングの醍醐味 | |
| 20 | 7月18日 | 土 島根県温泉津(ユツ) | 石見銀山の積出し港、古くからの湯治場 薬師湯がぜひお勧め(温泉協会最高評価らしい) | 給水 |
| 21 | 7月19日 | 日 ナイト | トローリングにブリ シイラ掛かる、豪快に刺身&バター焼食いきれず、シイラとの乱闘に疲れる | |

| | | | | | |
|----|-------|---|------------|---|--------------|
| 22 | 7月20日 | 月 | 下関漁港 | 下関駅裏徒歩3分、漁港とは名ばかり歓楽街のど真ん中、ネオン眩しく寝付かれず | |
| 23 | 7月21日 | 火 | 国東半島武蔵マリーナ | 潮流に乗り凄いスピードで関門海峡通過、本船航行多し、豊後水道を南下、大分空港滑走路脇のマリーナに入港 | 給油 給水 |
| 24 | 7月22日 | 水 | 室戸岬 室津 | 関アジ多数釣果旨し、もう食い切れない、好天、室津は天然の良港 夕日が秀逸、海釣りのメッカ | |
| 25 | 7月23日 | 木 | ナイト | エンジン緊急停止、原因究明に焦る、冷却ポンプ内部品の不良が判明し交換（揺れる船上での作業は困難極める） | エンジン分解 修理 |
| 26 | 7月24日 | 金 | 那智勝浦 | 岩窟温泉亡帰洞で有名な浦島ホテル前に着岸、栄養補給に努める | 給水 |
| 27 | 7月25日 | 土 | 那智勝浦 | 休養、温泉三昧、海鮮料理 | オイル交換 |
| 28 | 7月26日 | 日 | 大王岬 波切 | 伊良湖水道から北上するも風雨激しく、緊急入港、多くの画家が描いた波切漁村の風景 | |
| 29 | 7月27日 | 月 | 三河湾 蒲郡 | 豪雨の影響か濁った海水、ラグーナ蒲郡マリーナ着岸、現地仲間のアドバイスで格安停泊料の隣地三谷マリーナに移動 | 給油 給水 |
| 30 | 7月28日 | 火 | 三河湾 三谷マリーナ | 現地のヨットマンと交流 宴会 三谷温泉三昧、トヨタの地元か自動車運搬船 | |
| 31 | 7月29日 | 水 | ナイト | 遠州灘は荒れる、流入する大きい河川の影響か、苦労多し、動揺の為艇内散乱 | |
| 32 | 7月30日 | 木 | 伊豆半島 下田 | ようやく関東に帰る、下田港は何度も寄港しているペリー上陸地点脇停泊、栈橋で滑り足を負傷 | 給水 |
| 33 | 7月31日 | 金 | 三浦半島 三崎 | 旧知の諸磯ハーバーのヨットマンと交歓 先方別荘で無礼講の宴会 | |
| 34 | 8月1日 | 土 | 安房鴨川マリーナ | 城ヶ島大橋をくぐり東航しかし鴨川マリーナは割高な停泊料九千円！港中がゲルで高いマリーナに誘導される | 給水 |
| 35 | 8月2日 | 日 | ナイト | 銚子 九十九里 大規模な洋上風力発電設備を通過 | |
| 36 | 8月3日 | 月 | いわき市 小名浜 | 美空ひばりの塩屋崎通過マチ多数釣れる刺身三昧、捌くのが大変でもう釣れてくれるな。艇が生臭い！ | オイル交換 |
| 37 | 8月4日 | 火 | 亘理町 荒浜 | 阿武隈河口 鳥の海（丸い湾に小島が有り、鳥の目のような変わった地形）脇 | 給水 |
| 38 | 8月5日 | 水 | ナイト | 満天の星空 北斗七星の巨大さに改めて感激、金星がしつこく輝く、夜間操業の漁船団に囲まれ緊張して操舵 | |
| 39 | 8月6日 | 木 | 宮古 鮎川 | 東北震災津波復興中、巨大な防護壁が立上がりちょっと息苦しい、遠洋捕鯨記念館 鯨骨のペンダント購入 | 給油 給水 |
| 40 | 8月7日 | 金 | ナイト | 浄土ヶ浜通過、雲海から星座が現れ感激、空一面の星だらけ、夜光虫も鮮やかで航跡を長く引く | |
| 41 | 8月8日 | 土 | 下北半島 下風呂 | ひなびた下風呂温泉郷、硫黄泉で一見の価値あり、夜間強風でメインセール裂ける、走りながら緊急修理 | 給水 |

| | | | | | |
|----|--------------|---|---------|---|--------|
| 42 | 8月9日 | 日 | 函館 | 強風追手で函館入港、毎回馴染みの金森倉庫前着岸 観光客多し、停泊料金90円！谷地頭温泉後ジンギスカン鍋 | セール交換 |
| 43 | 8月10日 | 月 | 松前半島 福島 | 青函海峡で1m大のマグロが掛かるも強烈な引きで仕掛けを全部持って行かれる、やはり大間のマグロは甘く無い | |
| 44 | 8月11日 | 火 | 松前半島 福島 | 現地メンバーと交歓、千代の富士記念館 青函トンネル記念館見学後 宴会、強風待機 | 給水 |
| 45 | 8月12日 | 水 | 松前半島 福島 | 5:00出航 絶海の孤島松前小島（北朝鮮の漁民が狼藉を働いた）接岸 その後 | |
| 46 | 8月13日 | 木 | 奥尻島 神威脇 | 早朝 奥尻島西岸の神威脇温泉に着岸、野趣溢れる温泉を楽しむ 午後出航しナイト、強風 | 給水 |
| 47 | 8月14日 | 金 | 北海道 小樽 | 4:00カムイ岬通過 13:08小樽マリーナ帰着 夕刻メンバー全員で帰港祝 | |
| 48 | 8月15日 | 土 | 小樽 | 艇の完全清掃、次のレース（北海道外洋選手権）出場に備え備品整備、不要装備の搬出 | 破損部品補修 |
| 49 | 8月16日 | 日 | 東京へ帰還 | | |